

地域を支える活動をPR！！

皆さんは「消防団」をご存じですか。名前は聞いたことがあるけれど、実際の活動内容についてよく知らないという方が多いのではないのでしょうか。そこで、実際に消防団の方々の活動への参加や取材をする中で、まずは私たちから消防団について詳しくなりません。そして、その魅力を一緒に発信していきましょう。

メンバー数：12名
活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市消防本部
担当教員：岩崎 正彌（現代日本社会学部）
活動年度：R05, R06



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度も昨年度から引き続き、伊勢市の消防団員及び消防職員の方々と共に消防団活動への参加や取材を行う中で消防団についての理解を深めることができました。

○消防団の訓練への参加

夏季、秋季、冬季とそれぞれ行われた救命講習への参加の他に、操法大会に向けて訓練する姿や年始最初に行われる出初式へ参加等、消防団の方々の活動を間近に見ることができた。

○小学校への出前授業

昨年度より出前授業への参加機会が増え、多くの学生が小学校へ行くことができた。地域の防災に加えて、消防車による放水見学、防火着試着体験、消火器体験等、防災教育に携わることができた。また、小学校教諭や市役所の方々と直接お話しすることができた。

○地域イベントの警備及びブース活動

神宮花火大会での警備や伊勢まつりや救急・災害を考える集いにおけるブース展開等、地域イベントの裏で安全を守ってくれている消防団の方々の姿を見ることができた。

○消防団の方々へのインタビュー

消防団員の方々とは直接お会いし、インタビューを行った。消防団の方々には普段は別のお仕事もなさっているが、どうして消防団活動もしようと思ったのか。それぞれの消防団活動に対する熱い思いについて深掘することができた。

●反省点

学生の授業との兼ね合いもあり、活動に参加できる人できない人がいたことや学生間での情報交換等を行う機会もつくることができなかったことから、消防団に対する理解度に差があると感じる。また、各地域で行っている器具の点検等、より消防団の方々にとっては身近な活動まで見ることができていないため、来年度以降に期待したいです。

月別活動

- 6月 キックオフ会議
- 7月 操法訓練見学、神宮花火大会警備
三重県消防操法大会
- 8月 消防団夏季訓練、消防学校オープン
カレッジ、企画会議
- 9月 救急・災害を考える集い、企画会議
- 10月 伊勢まつり、企画会議
- 11月 小学校への出前授業
- 12月 消防団員の方々へのインタビュー
- 1月 出初式、小学校への出前授業、企画会議
- 2月 冬季訓練

活動を通して学んだこと

消防団の方々が行っている活動についての理解インタビューを通して得た、消防団の方々の活動に対するそれぞれの思い

実施主体からのコメント

伊勢市消防本部
ご担当者様

能登半島地震をはじめ、全国各地で豪雨災害等の災害が頻発しています。こうした大規模災害になればなるほど、消防本部のみでは対応できないことから、地域に密着した消防団の力が必要となります。

その一方で、消防団員数は減少が続いており、そのためには若年層の消防団員の確保が重要です。

若者にも魅力ある消防団とするためにも、若者の斬新的な発想が必要であると感じ、皇學館大学さんのCLL活動に着目して昨年度から学生目線での消防団の新たな役割の発見についてアプローチをしていただいています。

学生の皆さんには、消防団の古き良き伝統を継承しながらも、団員同士のコミュニケーションの取り方、フラットな関係性の築き方など、新たなイメージの提案を頂き、伊勢市消防団は新たなカタチとして生まれ変わろうとしています。

今後も、学生の皆さんの柔軟な発想をいただき、伊勢市から全国に消防団の新たなカタチを発信していただき、新時代の消防団の先進地として走っていきたくと思っています。

担当教員より

現代日本社会学部 岩崎 正彌

消防隊員・救急隊員になりたい方へ、公務員・民間・教員など公共に奉仕されたい方へ、いざという時に、人の命を救える人になりたい方へ、この活動は、救命救急技術を学びつつ、あなたの社会人能力を向上させ、就活面接力を高めます。ご参加を、心より、お薦め申し上げます。

こんな人におすすめ！

- ・消防団に興味のある方
- ・地域保全の企業や公務員に就きたい人



成果物 / 制作物

- ・ホームページにて消防団員さんの紹介文の作成
- ・消防団員募集の旗の作成